

JAIRO Cloudを中心とした機能紹介

平成28年5月26日（木） 国立情報学研究所学術基盤推進部
学術コンテンツ課 田口忠祐



JAIRO Cloudとは？

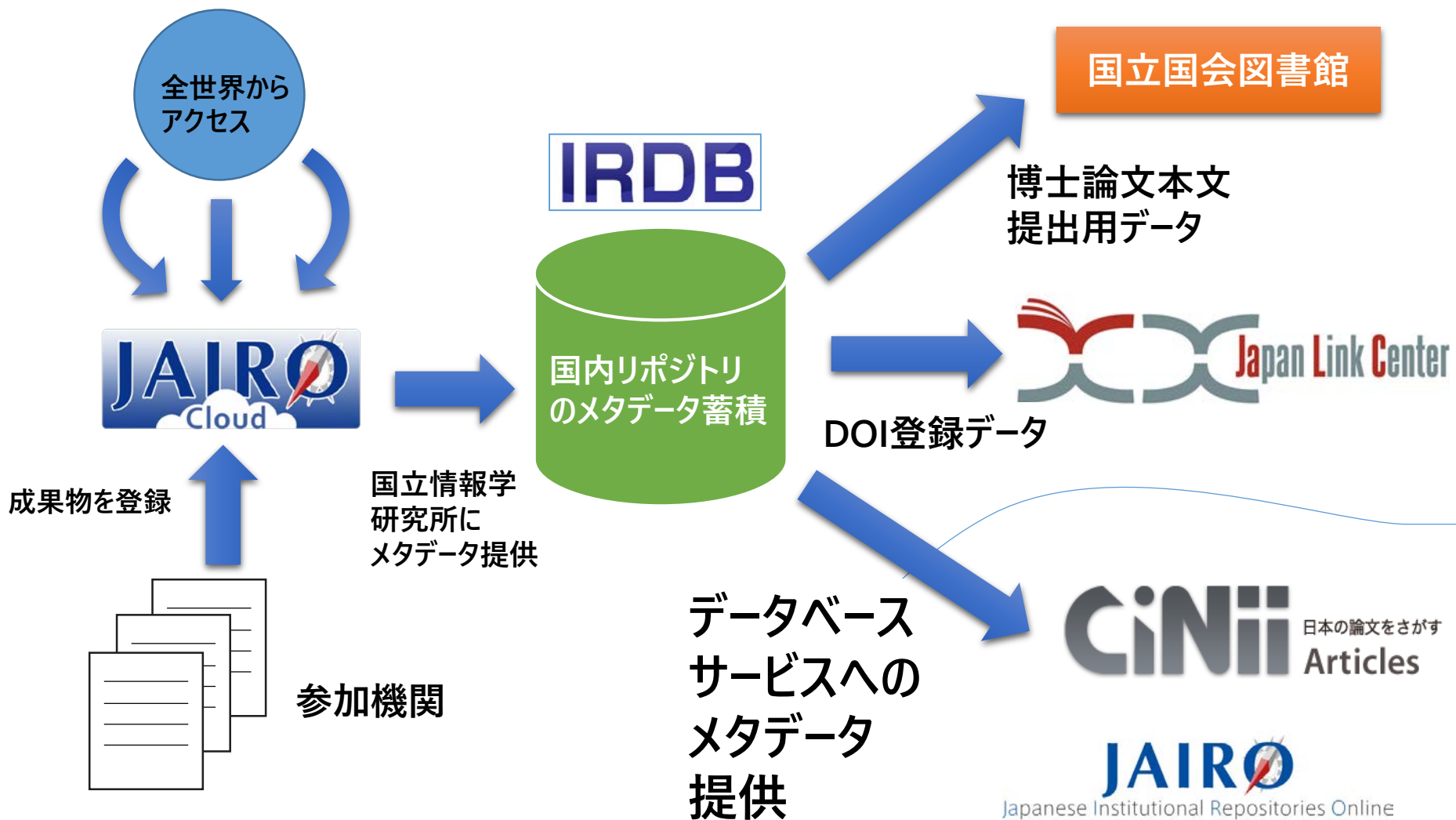
- 国立情報学研究所による
機関リポジトリ環境提供サービス
- 国内の機関リポジトリの構築をサポート

JAIRO Cloudへ参加することのメリットとは？

- 参加機関は、登録コンテンツの管理に専念できます。
↳ 国立情報学研究所は、サーバー管理などを行います。
- 参加機関は、370以上あり、コミュニティサイトもあります。



JAIRO Cloudを使うと実現できること



JAIRO Cloudでは、 リポジトリのシステムとして、 WEKO

を利用します



[WEKOのゴの意味]









スワヒリ語でリポジトリを意味するWEKOの中にポトンとコンテンツを登録すると利用者の輪が広がりました。

JAIRO Cloud環境のうち、
リポジトリ機能をWEKOが担っています。

WEKOとは？

- NetCommons 2上で動作するリポジトリモジュールです。
- 国立情報学研究所が開発と更新を行っています。

WEKOの特徴

- **高機能** 
 リポジトリの運用に必要な機能は全てそろっています。
- **簡単** 
 全ての機能がブラウザから操作できます。
- **安心** 
 国立情報学研究所が開発しています。
- **自分らしく** 
 NetCommons2を利用しているため、豊富なデザインやモジュールを利用して機関の好みのサイトが構築できます。

JAIRO Cloud構築機関の例

Kobe Shoin Women's University

 神戸松蔭女子学院大学学術機関リポジトリ
KARASHI-DANE
Knowledge and Academic Resource Archive of the Kobe Shoin Women's University Institutional Data Network



コンテンツ

トップ ランキング

language
日本語

キーワード検索
検索
簡易検索 全文検索

インデックスツリー
[x] 本学機関誌
[x] 学位論文
[x] 研究報告書
会報・紀要掲載論文
[x] その他

インデックスリスト
[x] 本学機関誌 [653件]
[x] 学位論文 [77件]
[x] 研究報告書 [8件]
[x] 会報・紀要掲載論文 [3件]
[x] その他 [1件]

MENU
Top Page
「からし種」とは?
神戸松蔭女子学院大学学術機関リポジトリとは?
運用ガイド

COUNTER
0 2 4 1 3 2

LINK
論文検索
JAIRO : Japanese Institutional Repositories Online
CiNii Articles - 日本の論文をさがす - 国立情報学研究所

研究者情報
研究者リソルバー
ReaD & Researchmap

その他
KAKEN - 科学研究費補助金データベース
Digital Repository Federation - DRF wiki
学術機関リポジトリ構築連携支援事業 | 機関リポジトリ一覧
Society Copyright Policies in Japan

コンテンツのご利用について
本リポジトリに登録されているコンテンツの著作権は、執筆者、出版社（学協会）などが有します。
本リポジトリに登録されているコンテンツの利用については、著作権法に規定されている私的利用や引用などの範囲内で行ってください。

<https://shoin.repo.nii.ac.jp/>

JAIRO Cloudのシステム構成

NetCommons2

NetCommonsでは
サイト全体のデザイン
を管理できます。

WEKO

WEKOはモジュールの
ひとつで、
リポジトリ専用
モジュールです。

The screenshot displays the JAIRO Cloud repository interface. At the top, a banner reads "JAIROcloudリポジトリ構築講習会 ジャイロ大学リポジトリ" and "Powered by WEKO". The main content area is titled "リポジトリ" and includes a "トップ" (Home) button and a "ランキング" (Ranking) tab. Below this, there are sections for "language" (set to Japanese), "キーワード検索" (Keyword Search), and "インデックスツリー" (Index Tree). The "インデックスツリー" section lists various categories: PDFカバーページ [0件], 紀要 [11件], D論サンプル [3件], 一覧目次表示デモ [18件], and MORE機能 [0件]. On the right side, there is a "カウンタ" (Counter) section showing "COUNTER" and a "リンクリスト" (Link List) section with a search button and several links, including "機関リポジトリ一覧", "CiNii Articles", "JAIRO : Japanese Institutional Repositories Online", and "国会図書館サーチ (NDL Search)".

モジュール

モジュールはサイトを
構成するパーツです。

モジュールを追加する
ことで機能強化
が可能

利用者側の機能 1

JAIRO Cloudのコンテンツ閲覧・検索機能

キーワード検索

言語選択

ディレクトリ検索

The screenshot displays the WEKO (Worldwide Electronic Journal Knowledge Organization) interface. At the top, there is a navigation bar with 'トップ' (Home) and 'ランキング' (Ranking) buttons. Below this is a search bar containing the text '晶' and a '検索' (Search) button. The interface is divided into several sections:

- Language Selection:** A dropdown menu labeled 'language' is set to '日本語' (Japanese).
- Indexing:** An 'インデックスツリー' (Index Tree) on the left shows a directory structure with 'テスト' (Test) selected.
- Item List:** A central 'アイテムリスト' (Item List) shows search results for 'テスト'. One item is visible: 'Concierge: personal database software for managing digital research resources.' by Sakai Hiroyuki and Aoyama Toshihiro.
- Ranking Section:** A separate window or overlay shows '最も閲覧されたアイテム' (Most Viewed Items) and '最もダウンロードされたアイテム' (Most Downloaded Items). The most viewed items include '利用統計サンプル1' (152 views), '利用統計サンプル2' (41 views), and '利用統計サンプル3' (35 views). The most downloaded items include '利用統計サンプル1 (2009総合展.pdf)' (10 downloads), 'カバーページサンプル1 (paper.pdf)' (7 downloads), and '利用統計サンプル1 (html5-cheat-sheet.pdf)' (5 downloads).

Green arrows on the left point from the text labels to the corresponding interface elements: 'キーワード検索' points to the search bar, '言語選択' points to the language dropdown, and 'ディレクトリ検索' points to the index tree.

利用者側の機能 2

インデックス検索結果を、「一覧形式」で表示した例

一覧を選択

The screenshot shows a web interface for search results. On the left is a sidebar with navigation options: 'language' (日本語), 'キーワード検索' (Keyword Search), 'インデックスツリー' (Index Tree) with sub-items like 'PDFカバーページ', '目次', 'D論サンプル', '一覧目次表示デモ', and 'MORE機能'. The main content area is titled 'アイテムリスト' (Item List) and shows a list of search results. The first result is '巻頭言' (Foreword) by 末松 安晴 (Masamune Yasaharu), with the text 'Progress in informatics : PI,1,i (2005-03)'. The second result is 'サーチエンジンからQA質問応答システム—新しいツールの必要性' (From Search Engines to QA Question Answering Systems—The Need for New Tools) by Zadeh Lotfi A., with the text 'Progress in informatics : PI,1,1-3 (2005-03)'. The third result is '単一光子を用いた量子情報システム' (Quantum Information System Using Single Photons) by 山本 喜久 (Yamamoto Yoshitaka) et al., with the text 'Progress in informatics : PI,1,5-37 (2005-03)'. The fourth result is '情報力と安全保障' (Information Power and Security) by 小原 雅博 (Ohara Masahiro), with the text 'Progress in informatics : PI,1,39-46 (2005-03)'. Each result has a '閲覧する' (View) button. At the top of the main area, there are options for 'チェックしたアイテムをExport' (Export checked items) and '表示順 ID (昇順)' (Sort by ID (Ascending)).

利用者側の機能 3

インデックス検索結果を、「目次形式」で表示した例

The screenshot shows a library website interface. On the left is a sidebar with navigation options: language (日本語), keyword search (検索), and index tree (インデックスツリー). The index tree includes options like PDF cover page, Table of Contents (目次), and More functions (MORE機能). The main content area displays search results for '目次' (Table of Contents) in a table format. The table has a yellow background and lists '紀要' (Abstracts), 'Vol. 20', 'No. 10', and '2011'. Below the table, there are sections for 'はじめに' (Introduction), '巻頭言' (Foreword) by 末松 安晴, and '特集号論文' (Special Issue Papers). The first paper is 'サーチエンジンからQA質問応答システムー新しいツールの必要性' by Zadeh Lotfi A. The second is '単一光子を用いた量子情報システム' by 山本 喜久, Santori Charles, Solomon Glenn, Vuckovic Jelena, Fattal David, Waks Edo, Diamanti Eleni. The last section is '情報力と安全保障' by 小原 雅博.

目次を選択

サムネイル画像

管理者側の機能 1

アイテムの個別登録機能

トップ アイテム登録 ワークフロー ランキング

アイテムタイプ選択 ファイル選択 **メタデータ入力** リンク設定 確認

アイテムタイプ: 学術雑誌論文 / Journal Article

メタデータ自動入力: -- [] 取得

タイトル*	てすてす論文
タイトル(英)	
言語*	日本語
公開日*	2013 年 9 月 27 日
キーワード	キーワードを「 」区切りで入力して下さい
キーワード(英)	キーワードを「 」区切りで入力して下さい
その他 (別言語等) のタイトル	1. [] More input row
	1. WEKO著者ID: 217 著者情報をクリア

フローに従って、データ入力作業を進められます

管理者側の機能 2

管理者機能の提供

The screenshot displays the WEKO administrator interface. The top navigation bar includes the following menu items: アイテムタイプ, アイテム管理, ツリー編集 (highlighted with a red box), 査読/承認, インポート, ログ解析, 管理, and ブロックスタイル. The main content area is divided into two panels: 'インデックスツリー' (Index Tree) on the left and 'ノード編集' (Node Edit) on the right. The 'ノード編集' panel contains various settings for a node, including '公開' (Public), '表示範囲' (Display Range), 'RSSアイコン' (RSS Icon), '検索結果表示形式' (Search Result Display Format), 'インデックス一覧' (Index List), and '閲覧権限' (View Permissions). A red arrow points from a text box to the 'ツリー編集' menu item.

リポジトリを管理・カスタマイズするコントロールパネルを提供

管理者側の機能 3

アイテムの一括登録機能

SWORD Client for WEKOを利用 (Windowsアプリケーション)



1. メタデータファイルを選択

2. データに合わせフィルターを選択

3. 登録先インデックスを選択

4. Depositボタンで一括登録実行

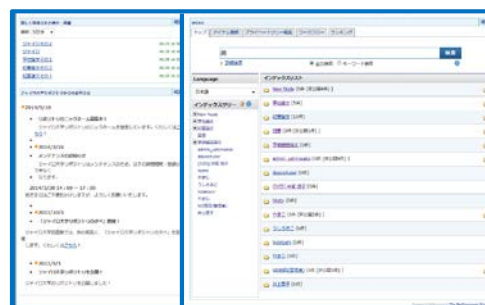
管理者側の機能 4

レイアウト設定 (NetCommons2の機能)

選択したレイアウトに合わせて、
ページの画面レイアウトを変更可能



レイアウト (例)



レイアウトの変更では、
各カラムの表示 / 非表示の
設定を行えます。

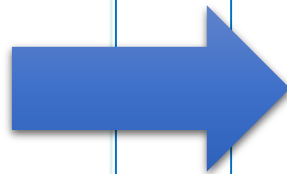
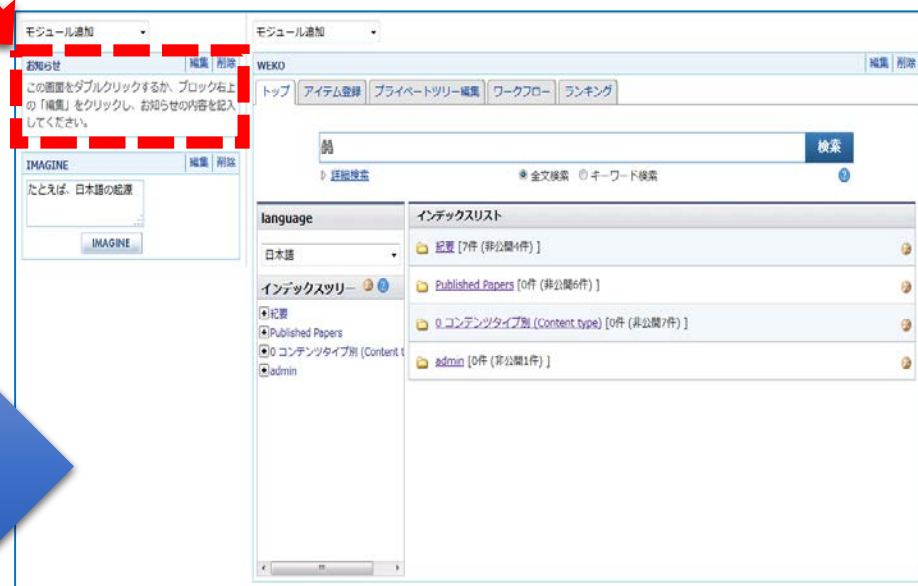
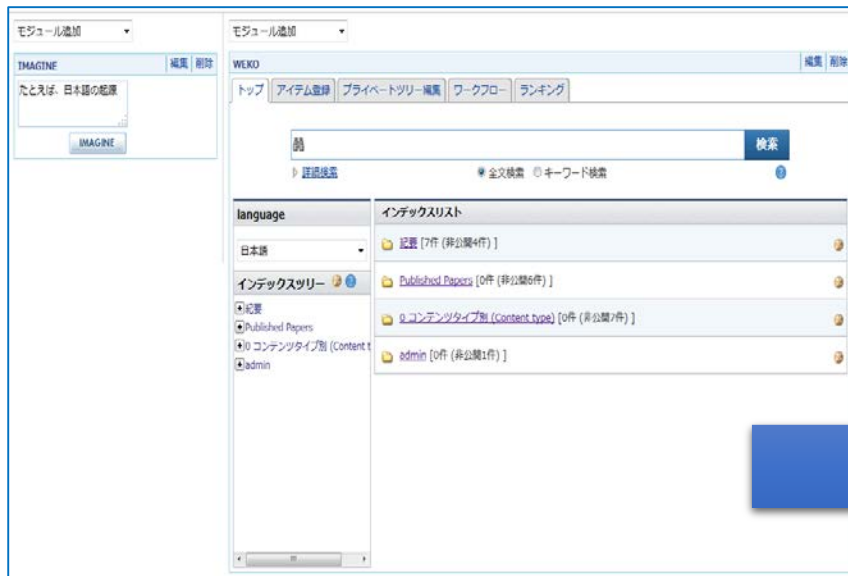
管理者側の機能 5

モジュール追加 (NetCommons2の機能)

Before (イメージ)

追加したモジュール

After (イメージ)

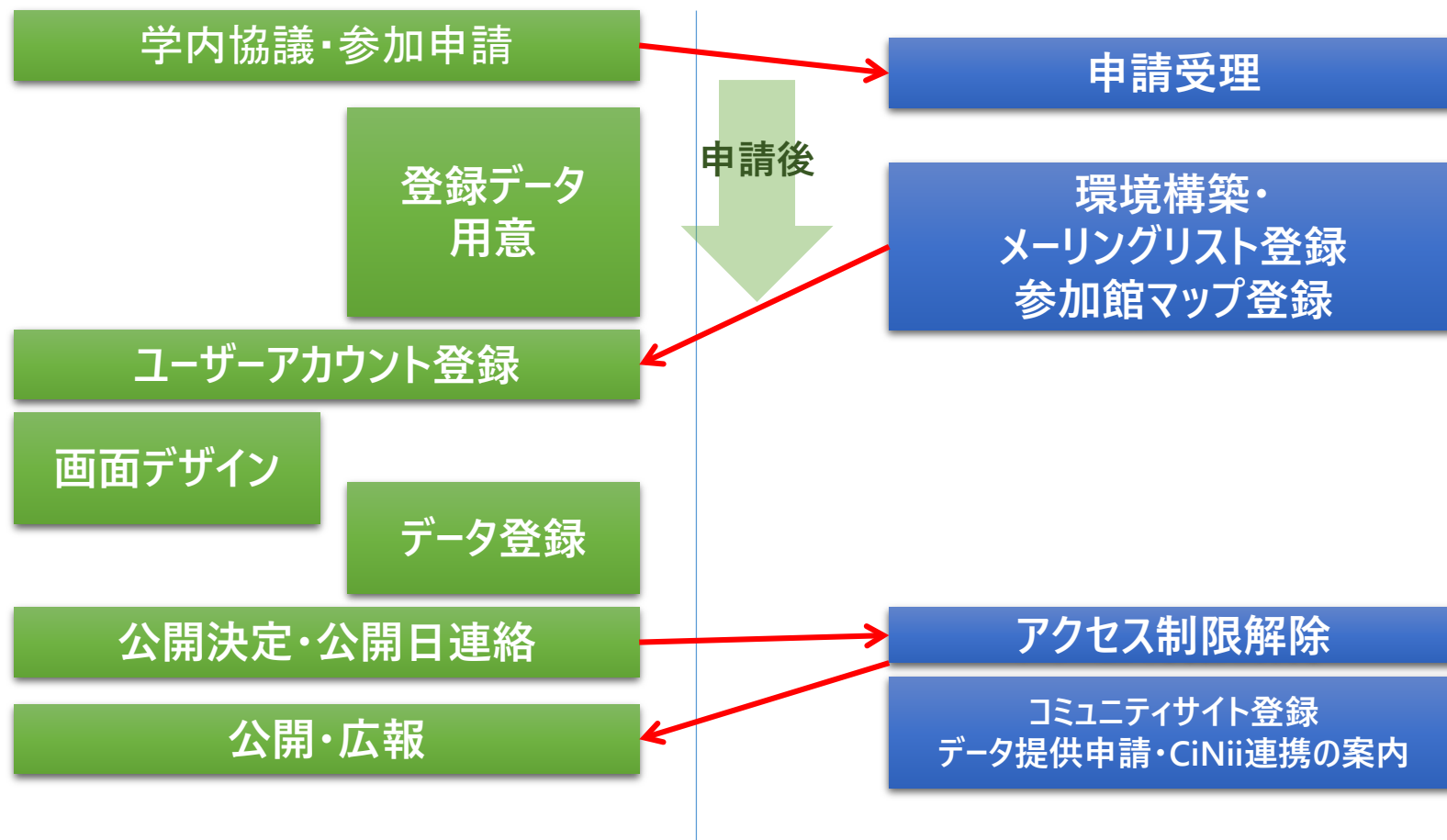


新しくモジュールを追加

新規構築機関のJAIRO Cloud利用の流れ

参加機関

国立情報学研究所

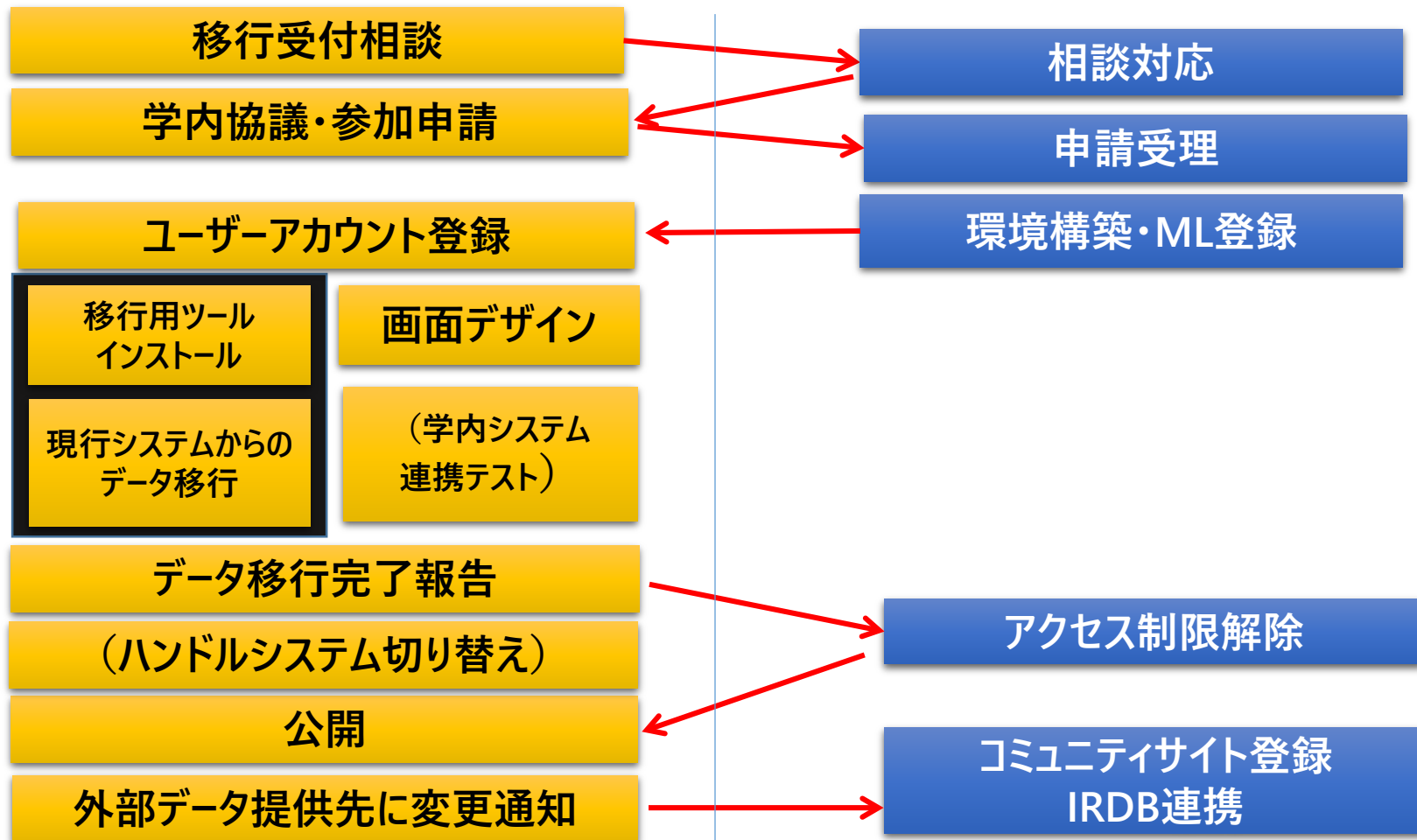


既構築機関のJAIRO Cloud利用の流れ

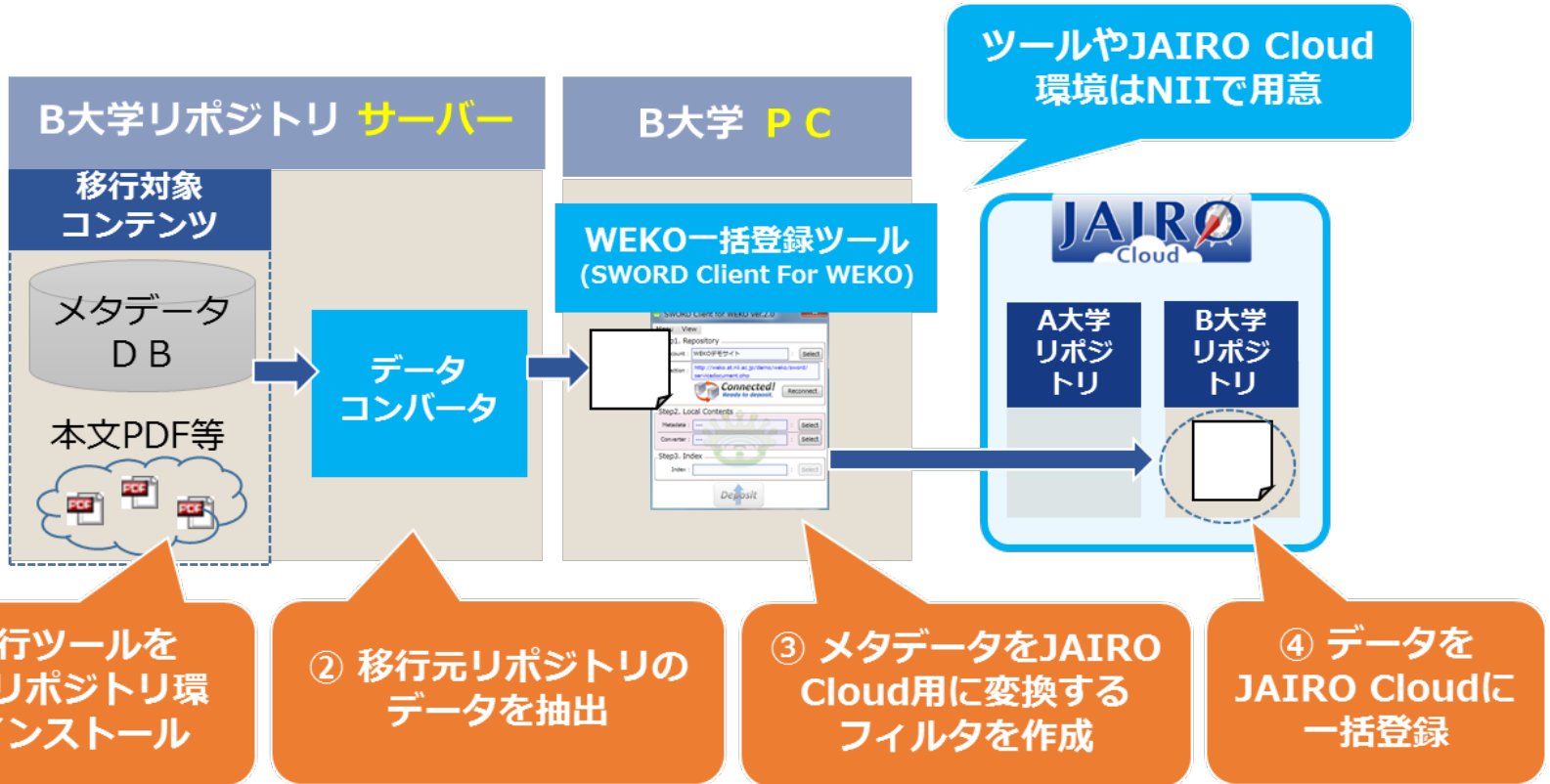
参加機関

国立情報学研究所

データ移行



JAIRO Cloudへの移行の仕組み



データコンバーター及び フィルタ提供システム

機関リポジトリシステム	実証実験機関
DSpace (ver 1.4, 1.5, 1.6)	筑波大学、信州大学、核融合科学研究所
NALIS-R	山形大学
E-Repository	千葉大学
XoonIps	旭川医科大学

上記システム外でも指定のフォーマットでデータを用意し、設定（フィルタ）を独自で行えば、データ移行が可能です。

国立情報学研究所では、既に機関リポジトリを構築している機関からのシステム移行受入を推進しています

平成25～26年度 数機関とデータ移行実証実験実施

平成26年5月 筑波大学がJAIRO Cloud参加

平成26年11月 移行相談受付開始

[移行相談のページ]

<https://community.repo.nii.ac.jp/service/migration/>

移行状況

移行機関の区分	移行機関数
国立大学	15
公立大学	4
私立大学	21
短期大学	3
その他	7
合計	50

※ 2016年4月30日現在（移行中の機関も含む）

移行に関してよくある質問

Q. CNRIハンドルをそのまま使えますか？

A. 可能です。ただし、CNRIとの契約は自機関で行っていただく必要があります。

Q. `repo.nii.ac.jp`ではなく、自機関ドメインを使えますか？

A. 可能です。ただし、サーバー証明書は自機関でご用意ください。

Q. 学内システムと連携できますか？

A. WEKOの外部インターフェイス(OpenSearch, OAI-PMH, SWORD)を使っての連携が可能です。

Q. 改修して欲しい機能があるのですが？

A. JAIRO Cloudでは、参加機関からの改修要望を受け付けています。

JAIRO Cloudを使うとDOI登録が便利

機関リポジトリでは、紀要文献などに国際的な識別子であるDOI (Digital Object Identifier) を登録できます。

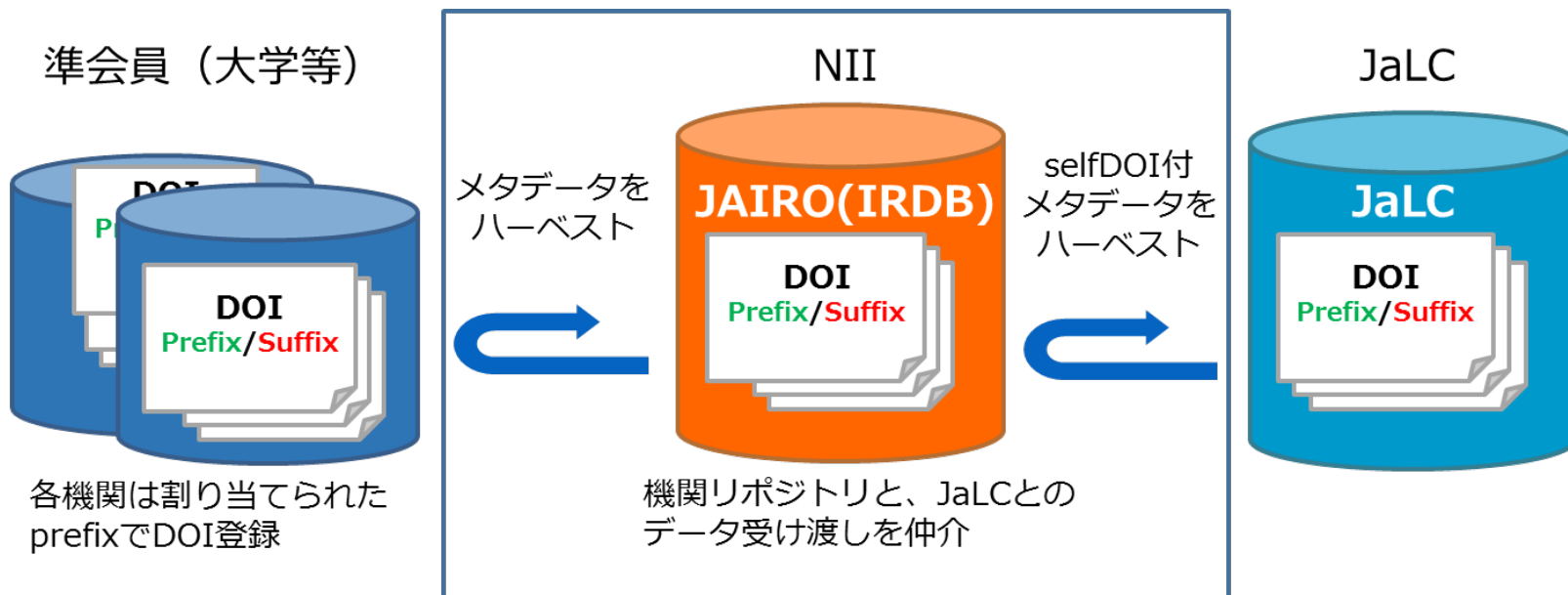
JAIRO Cloudでは、DOI登録に便利な機能を備えています。

- ✓ DOI採番をシステムで行います (番号管理は不要です)。
- ✓ DOIの一括登録が可能です。
- ✓ DOIの登録条件を満たすかどうか、システムがチェックします。

DOI登録のメリット

- 世界で流通する識別子が付与されます。
- 永続的なURLが与えられ、アクセシビリティが向上します。
- 引用、検索、リンク等に利用できます。
- 統計や文献同定等、コンテンツ単位での管理が容易になります。

DOI登録の流れ



DOI登録における国立情報学研究所の役割

国立情報学研究所は、JaLCの正会員として準会員の取り纏めを行うとともに、機関リポジトリのコンテンツへのDOI登録環境を整備しています。

JAIRO Cloud参加機関、または既に機関リポジトリを構築している機関は、学術機関リポジトリデータベース（IRDB）へデータ提供を行うことで、JaLC準会員として、DOIの登録が可能になります。

JAIRO Cloudの申請とJaLC準会員申請が同時にできます。

※ 機関リポジトリのDOI登録は「国立情報学研究所が取り纏めるJaLC準会員」（以下）をご参照ください。

<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/jalc>

ユーザーからの要望受付

JAIRO Cloud改修アンケートを実施し、ユーザーからの要望を機能として実現しています。

今年度も実施予定

【H27年度WEKO開発】アンケートの実施概要

平成27年度のWEKO(JAIRO Cloud)開発に際して、実装候補となっている機能の中でどの機能がWEKOユーザーから求められているかを調査するため、アンケートを実施いたします。

アンケートの集計結果は、WEKOへ実装する機能を決める際の参考とさせていただきます。このアンケートを踏まえ、JAIRO Cloud事務局にて予算の制約や費用対効果等を総合的に判断し、平成27年度の改修機能を決定します。

アンケートの回答方法

今回「追加・改修の候補となっている機能」を13個挙げています。

この中から、ぜひ欲しい機能を3個まで選択してください。また次回以降の改修候補となりますが、ご要望の機能がありましたら、ご提案をお願いいたします。

→回答フォームは[こちら](#)

※回答は1機関1回をお願いします。(1機関で複数の回答をした場合、2回目以降の回答は無効です。)

※「追加・改修の候補となっている機能」については、過去にWEKOユーザーの方からいただいたご要望を元に、現状で対応が可能であるものをIIIで選定させていただきました。

回答期日

2015年7月24日(金) 17:00まで

WEKO開発の参考とさせていただくため、皆さまのご回答をお待ちしております。

本アンケートは終了しました。ご協力ありがとうございました。

国内機関との協調

● 機関リポジトリ推進委員会

共用ロボットリスト JAIRO Crawler-Listの提供

機関リポジトリのログ比較

junii2の改定

● JaLC (ジャパンリンクセンター)

研究データへのDOI付与



<https://bitbucket.org/niijp/jairo-crawler-list>

今年度の開発予定

- 著者名典拠管理機能
- DOI Suffixの自由記述化
- ユーザーからの改修要望実現

今後について

- **WEKO3**
- **junii3**
- **研究データ対応**
JAIRO Cloud for Data

利用申請書、マニュアルなどは、 コミュニティサイトで

<https://community.repo.nii.ac.jp/>

The screenshot shows the JAIRo Cloud website interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'トップページ', 'サービスについて', 'ニュース', 'ドキュメント', 'コミュニティ', 'リンク', and 'よくあるご質問'. Below the navigation bar, a main heading reads '国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。'. The 'ドキュメント' section is active, displaying a 'リンクリスト' (Link List) with the following items:

- [WEKO](#)
「WEKO」のサイトです。WEKOは国立情報学研究所が開発しているNetCommons 2上で動作するリポジトリモジュールです。
- [SWORD Client for WEKO \(SCFW\)](#)
コンテンツを一括登録するためのソフトウェア「SWORD Client for WEKO」をダウンロードできます。
- [Digital Repository Federation - DRF.wiki](#)
日本の機関リポジトリコミュニティDRF（だーふ）のサイトです。先行大学からの豊富な情報があります。
- [NetCommons2公式サイト](#)
NetCommonsの公式サイトです。JAIRo Cloudのサイトは、NetCommonsで作られているので、デザインやモジュールについてはこのサイトを見てみてください。

Below the link list, there is a section for '映像マニュアル' (Video Manual) with a link to 'WEKOおよびNC2の映像マニュアル'. At the bottom, there is a 'ドキュメント' section with a 'トップ' button and a search bar.

機関リポジトリ新任担当者研修

これから、機関リポジトリを担当される方は、
機関リポジトリ新任担当者研修の受講もご検討
ください。

国立情報学研究所の教育研修事業のウェブサイトからお申込できます。

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/jc/index.html>

The screenshot shows the website for the "機関リポジトリ新任担当者研修" (Open Access Repository New Instructors Training). The page is in Japanese and provides details about the training program.

目的
オープンアクセスの構築と機関リポジトリの構築・運用に必要な基礎的知識と技術を得る。

到達目標
オープンアクセスについて理解し、所属機関で機関リポジトリの構築・運用を行うことができるようになる。

受講対象者
機関リポジトリの運用・管理に係る業務を担当する教職員。
※ 申込が受付けられる場合、機関内の権限・地位、及び同一機関からの受講回数等を考慮して受講者を決定する。

受講の前提となる知識・技術
パソコンの基本的な操作および文字入力を行うことができること。

開催会場・開催期間等

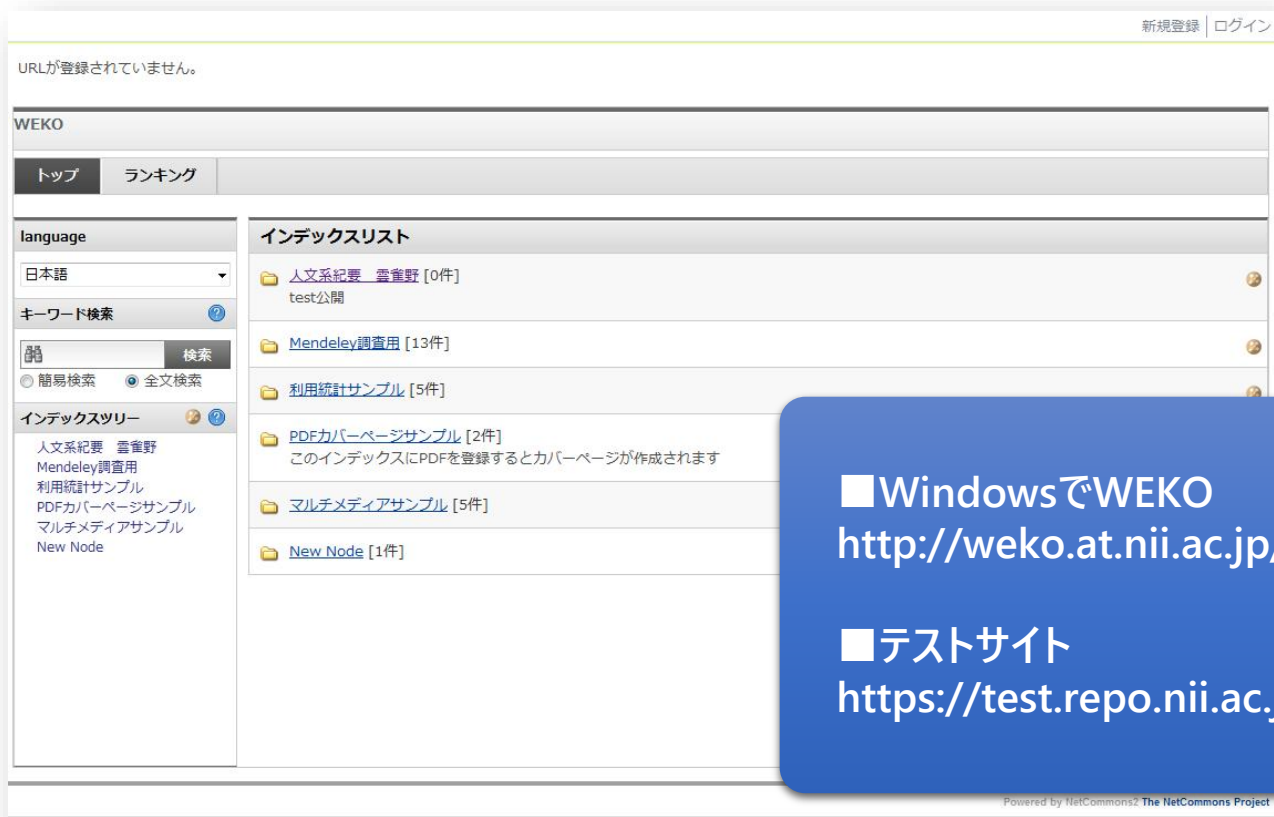
期次	開催会場	開催日時	申込締切日	定員
1	国立情報学研究所	28. 6/29(木)～ 6/30(金)	28. 5. 6(金)	各回32名
2	国立情報学研究所	28. 7/26(木)～ 7/27(金)	28. 6. 30(金)	各回32名
3	長崎国際大学	28. 8/22(月)～ 8/23(火)	28. 7. 1(金)	各回20名
4	神戸国際女子学院大学	28. 9/18(火)～ 9/19(水)	28. 7/22(金)	各回20名
5	国立情報学研究所	28.10/27(木)～10/28(金)	28. 9. 22(金)	各回32名

主催機関：機関リポジトリ推進委員会
国立情報学研究所

主な研修内容(予定)
機関リポジトリの構築・運用に関する基本的な知識。
・ 機関リポジトリの概論

JAIRO Cloudのお試し環境

Windows上やテストサイトでお試しできます。



The screenshot shows the WEKO (Worldwide Electronic Journal Knowledge Organization) interface. At the top right, there are links for '新規登録' (New Registration) and 'ログイン' (Login). Below this, a message states 'URLが登録されていません。' (URL is not registered). The main header includes 'WEKO' and navigation tabs for 'トップ' (Home) and 'ランキング' (Ranking). The left sidebar contains a 'language' dropdown set to '日本語', a 'キーワード検索' (Keyword Search) section with a search box and '検索' (Search) button, and an 'インデックスツリー' (Index Tree) listing categories like '人文系紀要 雲雀野', 'Mendeley調査用', '利用統計サンプル', 'PDFカバーページサンプル', 'マルチメディアサンプル', and 'New Node'. The main content area, titled 'インデックスリスト' (Index List), displays a list of folders with their respective item counts: '人文系紀要 雲雀野 [0件]' (with sub-item 'test公開'), 'Mendeley調査用 [13件]', '利用統計サンプル [5件]', 'PDFカバーページサンプル [2件]' (with note 'このインデックスにPDFを登録するとカバーページが作成されます'), 'マルチメディアサンプル [5件]', and 'New Node [1件]'. At the bottom right of the page, it says 'Powered by NetCommons2 The NetCommons Project'.

■ WindowsでWEKO
http://weko.at.nii.ac.jp/?page_id=15

■ テストサイト
<https://test.repo.nii.ac.jp/>

おわりに

- **学術機関リポジトリ構築連携支援事業**
<http://www.nii.ac.jp/irp/>
- **JAIRO Cloudコミュニティサイト**
<https://community.repo.nii.ac.jp/>
- **国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課
研究成果整備チーム機関リポジトリ担当**
ir@nii.ac.jp